

【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド1号～5号**契約期間延長（3回目）のお知らせ**

投資家の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

【本レポートの要旨】

- 本ファンドシリーズについて、匿名組合の有効期間満了日を2023年6月末日から2024年6月末日まで1年間延長いたします。
- 貸付先グループ（後述）の資金繰りが悪化を続けており、事業継続の不透明感が高まっています。当社グループは、貸付先グループの運転資金が尽きる前に、大幅な債権放棄を伴ってでも一部資金を返済させる交渉に着手しました。
- 貸付先グループに十分な資金がなく、また今後の資金調達の日途も立たないことから、返済を受けられる一部資金は少額にとどまるものと見込まれます。本ファンドシリーズの最終的な回収率は、すでに2021年6月期に分配を実施した経過利息を含めてもご出資いただいた資金の20%程度を見込んでいます。

本ファンドシリーズは、本件匿名組合契約書第4.1条第2項にて、本件匿名組合契約の有効期間を2021年6月末日までとしておりましたが、2021年6月および2022年6月に契約期間延長を行い、延長後の有効期間を2023年6月末日までとしました。このたびクラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下「本営業者」といいます）は以下に述べる事由により、同項の契約期間延長（3回目）を行い、延長後の有効期間を2024年6月末日までといたします。

【本件匿名組合契約期間満了日・延長の履歴】

号数	当初	1回目延長後	2回目延長後	3回目（今回）延長後
1	2021年6月末日	2022年6月末日	2023年6月末日	2024年6月末日
2および3	2021年7月末日	同上	同上	同上
4および5	2021年8月末日	同上	同上	同上

【出資対象事業の概況】

本ファンドシリーズは、本営業者がクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社である Crowdcredit

Estonia OÜ（以下「エストニアグループ会社」といいます）に対して貸付けを行いました。

その上でエストニアグループ会社はこの借入金を原資として、イギリス領ヴァージン諸島に籍を置く CPD Limited（以下「CPD 社」といいます）へ貸付けを行いました。CPD 社の債務に対して、CPD 社の 100%親会社である CAPTIS INTELLIGENCE INC.¹（以下「Captis 社」といいます）が保証を行います。

Captis 社はアメリカ合衆国のベンチャー企業で、独自に構築した犯罪者の顔写真データベースをセキュリティ企業や小売店舗に納入するセキュリティ事業者です。米国の法執行機関(FBI、米国沿岸警備隊、米国財務省、州警察、市警察など)が個々に保有する犯罪者の顔写真を統合して、Captis 社独自のデータベースを構築しました。Captis 社のデータベースを顔認証機能付きの防犯カメラと連結すれば、万引きや強盗といった犯罪の防止や検挙に役立てられます。

【契約期間延長の事由】

Captis 社は当初、同社が保有する犯罪者の顔写真データベースを、セキュリティ企業大手の Milestone 社に納入する予定でした。その取引で見込まれた収入は最大 1,000 万ドルで、それを本ファンドシリーズの返済金に充てるはずでした。しかし、Milestone 社が米国での新型コロナウイルス感染症の感染急拡大等を理由に、予定された取引をキャンセルしました。Captis 社は Milestone 社との取引解消以降にまとまった返済資金を確保できなかったため、エストニアグループ会社に返済期限の延長を要請し、エストニアグループ会社はそれを受け入れました。

これまで、2021 年 6 月期に CPD 社がエストニアグループ会社に本ファンドシリーズに関する経過利息を支払い、それを原資にエストニアグループ会社が本営業者に対して、元本を優先して返済を行いました。エストニアグループ会社はそれから現在に至るまで CPD 社および Captis 社との交渉を継続していますが、返済のめどが立っておりません。詳細は、2023 年 1 月 18 日付【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド全号 運用状況のご報告²をご確認いただけますと幸いです。また、その後現在に至るまでの状況は以下の通りです。

<データベースの納入状況>

Captis 社は、米国の小売事業者、セキュリティ事業者等とデータベース取引の交渉を続けております。2022 年 10 月、Captis 社がセキュリティ事業者 IM 社との間で、Captis 社のデータベースを提供して IM 社のシステムと連携させる取引に合意しました。しかし、同合意に基づく Captis 社のデータベースと IM 社システムとの連携作業がまだ行われておらず、今後数ヶ月のうちに IM 社からの売上金を期待できる状況にはありません。

<出資交渉の状況>

Captis 社および CPD 社（本レポートにおいて、あわせて「貸付先グループ」といいます）は、事業開始から現在に至るまで、運転資金確保のために個人投資家の出資を募ってきました。現在も貸付先グループは複数の個人投資家に出資を打診していますが、いまだにまとまった出資の確約を得られていません。

¹ Captis 社 web サイト <https://www.captisintelligence.com/>

² <https://platform.crowdcredit.jp/operation/entry/2516/71>

また、貸付先グループは2023年6月に証券取引所への新規上場をサポートする投資銀行と株式公開に関する委任契約を締結し、NASDAQへの上場を模索しています。さらに、潜在投資家に対して株式転換権付き社債を発行する形での運転資金確保も模索しています。しかし、それらの実現可能性はいずれも未知数であり、手元の運転資金が枯渇するまでに運転資金を確保できる目途が立っておりません。

<貸付先グループの事業運営状況>

現在、貸付先グループは、既存顧客の支払うデータベース利用料等の収入だけでは運転資金が不足するため、既存株主からも少額ずつの資金を調達しています。しかし、それでも運転資金は十分でなく、規模の縮小を余儀なくされています。そのため、IM社を除く新規顧客への営業活動を大幅に縮小しています。

そのような状況下、貸付先グループではすでに、役職員への給料や業務委託先への委託費といった支払の遅延が発生しており、今後数カ月のうちに運転資金が枯渇して事業を継続できなくなるおそれがあります。

なお、2022年3月には貸付先グループが仲介業者を起用してデータベースや事業そのものを売却して本ファンドシリーズに関する返済原資の確保に努めた旨を報告しましたが、売却先が見つかりませんでした。

【返済見通しおよび今後の対応】

2023年6月時点において、本ファンドシリーズの貸付先グループからの返済履行が非常に困難となっています。

- ▶ 貸付先グループの経営陣は事業継続の強い意志を持っていますが、資金繰りが予断を許さない状況となっています。また当社は、貸付先グループ経営陣を通して既存株主に対する増資の要請をしてきましたが、まとまった資金の拠出に同意する株主は見つかっていません。
- ▶ 貸付先グループの運転資金が枯渇する場合にはファンド財産の全額が毀損する恐れもあることから、当社は貸付先グループ経営陣と同社既存株主に対して、部分返済を行えば残債の免除も検討することを念頭に交渉を始めております。
- ▶ なお、貸付先グループの資金繰りがすでに大幅に悪化していることから、仮に部分的な返済を受けたとしても、本ファンドシリーズの最終的な回収率は、2021年6月期に分配を実施している経過利息を含めても、ご出資いただいた金額の20%程度にとどまる見込みです。

本営業者は本件匿名組合契約の契約期間を延長（3回目）し、2024年6月末日を延長後の契約期間満了日といたします。ただし、上に記載した部分返済についての交渉が実現した場合を含め、現地での資金の回収作業が終了して2024年6月末日を待たずに回収したすべての資金が投資家の皆様に分配される際は、その日から1ヶ月を経過した日において、契約の終了とさせていただきます。

引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号